

沿岸海底下等における地層処分の技術的課題に関する研究会(仮称)について (案)

平成27年12月11日
資源エネルギー庁

1. 背景・目的

- 高レベル放射性廃棄物の最終処分に向け、国が提示する科学的有望地の検討では、地層処分技術ワーキンググループ(以下、「技術 WG」という。)において、「適性の低い地域」を除いた上で、廃棄物輸送時の安全性確保の観点から、沿岸部(島嶼部や沿岸海底下を含む)が「より適性の高い地域」として議論されている。
- 技術 WG では、沿岸部における特性と留意事項が示され、今後の調査研究については別の場で具体的な検討を行うべきとの指摘があった。
- また、放射性廃棄物ワーキンググループにおいても、特に海域については、一般的な特性や留意事項について丁寧な説明が必要との指摘があった。
- 以上を踏まえ、本研究会では、特に沿岸部の海域に着目し、関連する研究成果等を整理する。また、技術的信頼性を更に向上させるべく取り組むべき課題を抽出・整理し、それらを効率的かつ着実に実施していくための今後の指針として、取りまとめる。

2. 研究会参加者構成

- 関連する専門性を有した学識者と、原子力発電環境整備機構及び基盤研究開発機関等(※)から構成される研究会とする。

※日本原子力研究開発機構、産業技術総合研究所、電力中央研究所、原子力環境整備促進・資金管理センター、放射線医学総合研究所、海洋研究開発機構、関係省庁(オブザーバー)を予定

3. 検討事項

- 技術的信頼性を向上させるため、沿岸海底下等における①地質環境の調査技術、②工学技術、③安全評価技術に関する課題を精査する。

4. 今後の進め方(スケジュール)

- 研究会は平成28年1月に立ち上げ、年前半を目処に取りまとめる。

【内容(予定)】

- ・研究会の趣旨説明
- ・関連する研究成果等の整理
- ・沿岸海底下における技術的信頼性向上のための課題抽出
- ・全体取りまとめ

※議論の進捗は、適宜、技術 WG 等に情報提供する。

以上